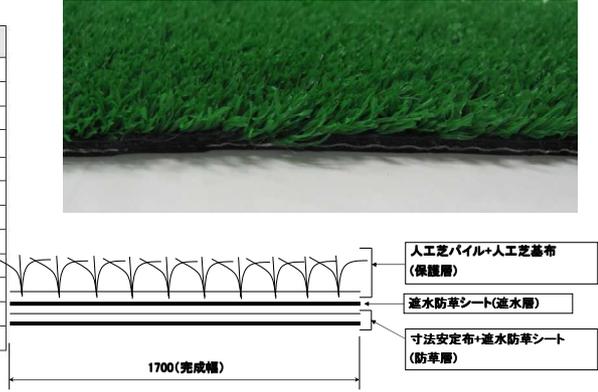


商品・工法名称	マックスグリーンターフ																										
商品・工法の分類	□瓦礫処理、□除染作業、□除染仮置き、☑復旧・復興、□その他																										
品・工法概要	<p>遮水シート表面に人工芝を張り合わせたもの。 盛土や切土法面では、降雨にともなう土中への水の浸透が法面を不安定にさせる要素となりやすい。降雨水の土中への浸透の低減をはかり、防草効果を期待でき、さらに景観に配慮することが可能となる。 震災復興で施工される盛土法面へ敷設することができる。</p>																										
商品規格・概略図等	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">規格・物性一覧</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>規格および物性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幅</td> <td>1.7m</td> </tr> <tr> <td>長さ</td> <td>20m (標準)</td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>約 1.4mm</td> </tr> <tr> <td>重量</td> <td>約 2kg/m²</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">引張強度</td> <td>タテ 390N/5cm 以上</td> </tr> <tr> <td>ヨコ 245N/5cm 以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">引張伸度</td> <td>タテ 約 35%</td> </tr> <tr> <td>ヨコ 約 40%</td> </tr> <tr> <td>遮光率</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>透水係数</td> <td>10⁻⁹ cm/sec 以下</td> </tr> <tr> <td>難燃性</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>耐久性</td> <td>約 10 年</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>	規格・物性一覧		項目	規格および物性	幅	1.7m	長さ	20m (標準)	厚さ	約 1.4mm	重量	約 2kg/m ²	引張強度	タテ 390N/5cm 以上	ヨコ 245N/5cm 以上	引張伸度	タテ 約 35%	ヨコ 約 40%	遮光率	100%	透水係数	10 ⁻⁹ cm/sec 以下	難燃性	あり	耐久性	約 10 年
規格・物性一覧																											
項目	規格および物性																										
幅	1.7m																										
長さ	20m (標準)																										
厚さ	約 1.4mm																										
重量	約 2kg/m ²																										
引張強度	タテ 390N/5cm 以上																										
	ヨコ 245N/5cm 以上																										
引張伸度	タテ 約 35%																										
	ヨコ 約 40%																										
遮光率	100%																										
透水係数	10 ⁻⁹ cm/sec 以下																										
難燃性	あり																										
耐久性	約 10 年																										
使用・施工条件 適応場所など	<p>盛土法面、切土法面の一般的な法面。 敷設したシートの端末を止めピンを用いて止める。 芝刈りを繰り返して行い、景観と安全性に配慮しているような法面では芝刈りの必要性がなくなるため効果的である。</p>																										
その他必要資材	<p>1) 止めピン：φ4 折り曲げ加工した鉄ピン。 2) フラットバー ※フラットバーは敷設場所により準備する</p>																										
使用・施工上の 留意点	<p>強風ではがされる可能性がある場合には フラットバーで抑えて止める。</p>																										
維持管理	<p>長期に渡り安定した品質を保持することができることから維持管理にかかる費用が小さい。</p>																										
経済性	<p>毎年の芝刈りコストの 10 年分のコストを参考にできる。</p>																										
参考文献	<p>鉄道構造物等設計標準・同解説 土構造物，平成 19 年 1 月 鉄道総合技術研究所：pp.542～545</p>																										
問合せ先	<p>太陽工業(株) 国土環境エンジニアリングカンパニー 東北支店 担当：青山 Tel：022-227-1364 fax：022-266-9589 e-mail：ak002127@mb.taiyokogyo.co.jp</p>																										